

授業科目 介護技術Ⅰ

【担当教員名】 岡田 史 宮下榮子	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	介護福祉必修選択
	単位数	2	時間数	30

<一般目標：G I O>

介護の基本的技術を習得し、その原理について理解する。介護の基本原則、原則が演習を交えて理解できる。

<行動目標：S B O>

1. 介護場面におけるコミュニケーションの重要性について理解できる。
2. 健康な状態、また状態の変化について理解できる。
3. 健康状態の変化、不調の兆しの発見の技法が身に付く。
4. 介護に適した住まいや環境について理解できる。
5. 住設備や福祉用具について理解し、正しく使用できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	コミュニケーション技法（傾聴）	1	演習
2	面接時の洞察共感の技法	1	演習
3	言葉や身振りの理解と問題解決の技法	1	演習
4	自己の役割を伝え、納得と合意を得る表現方法	1	演習
5	眠り方や目覚めの状態変化、体温、脈拍、呼吸、皮膚の状態変化	2	演習
6	嚥下の状態や排泄物の変化	2	演習
7	状態に対する理解力、判断力の変化、感情の変化	3	演習
8	視覚、聴覚及び知覚の変化、姿勢や動作能力の変化	3	演習
9	移動スペースに応じた住まいの配置、位置、高さ	4	演習
10	浴室、トイレ、台所等の住管理	4	演習
11	プライバシー空間のあり方	4	演習
12	衣類、寝具の衛生管理並びに室内の清潔	5	演習
13	福祉用具の意義と概要及び安全への配慮	5	演習
14	福祉用具の選択、活用及び管理に関する援助	5	演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	中央法規出版 介護福祉士養成講座「介護技術Ⅰ」			
参考書	必要時推薦します。			
その他の資料	随時配布いたします。			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
出席および授業態度 試験	体を動かす実技実習が多いので、動きやすい服装で出席してください。			